

令和7年度

名古屋市 公立学校

教員募集



子どもたちとともに
未来を創ろう

申込受付期間

令和7年4月18日（金）
～令和7年5月2日（金）

1次試験

令和7年6月14日（土）

2次試験

令和7年7月19日（土）
20日（日）

※この期間中の本登録完了分有効（インターネット申込）

名古屋市教育委員会



子どもたちのための

新しいなごやの教育

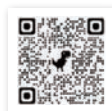
子ども中心の学び「ナゴヤ学びのコンパス」

名古屋市では、「ナゴヤ学びのコンパス」の理念に基づいた「子ども中心の学び」を幼児期から青年期まで一貫して大切にします。「子どもは有能な学び手」として理解し、尊重、対話、チャレンジを大切にしながら、教員は子どもの学びに伴走します。

また、これまでの授業改善の推進に向けた取組と働き方サポート事業の成果を5つのプロジェクトに再構築し、「ナゴヤ・コンパス・プロジェクト」がスタートしました。授業実践、学校間連携、人材育成、学びの機会、学校運営改革を通して、「子ども中心の学び」を進める学校づくりを推進します。



ナゴヤ学びの
コンパス



ナゴヤ・コンパス・
プロジェクト



新たなキャリア教育の仕組み「キャリアタイム」



キャリアタイム

実社会で活躍する本物のヒト・モノ・コトとの出会いや日ごろの授業などを通じて、子どもたちが自分の「好き」や「できる」を大切にしながら、自分らしい生き方を実現する力を身に付ける時間を「キャリアタイム」と位置付け、キャリア教育のより一層の充実を図っています。

夜間中学「なごやか中学校」開校

国籍を問わず、様々な理由により義務教育を修了できなかった方や、不登校などの事情により義務教育が十分に受けられなかった方などの「学びたい」という思いに応えるために、令和7年4月に本市初の夜間中学「なごやか中学校」を開校します。



なごやか中学校

市立高校の魅力ある取組

市立高校は、グローバル化が進む新しい時代に求められる資質・能力を育成するため、探究的な学びの推進、産業界・大学・地域との連携、9つの国と地域に180人の高校生を派遣する海外派遣など、様々な魅力ある取組を実施しています。また、市立高校14校が、学校の枠を越えて、専門性の高い授業や特色のある授業を共有できる環境づくりにも取り組んでいます。



子どもたち一人一人を大切にした「特別支援教育」

本市の特別支援教育は、障害のある子どもたちの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子どもたちのもてる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、指導・支援を行っています。名古屋市には、南特別支援学校・南特別支援学校分校・西特別支援学校・守山特別支援学校・天白特別支援学校があり、令和6年度には、若宮高等特別支援学校が開校し、特別支援教育のさらなる充実を図っています。

▶ 特別支援学校の各学級では、
複数の教職員によるチーム体制で指導にあたっており、
様々なことを相談し合える環境があります。



【特別支援学校教員】

子どもの目線になって物事を考えることを心掛けています。授業の際に、どのように言葉を掛けたら伝わりやすいのか、子どもの立場に立って考え、丁寧な指導を心掛けています。
一つ一つの取組や言葉掛けが、1年後、数年後の子どもの力になっていくことを実感できることは、特別支援教育の魅力です。

特別支援学校では、見通しのもちにくさから生じる活動への不安感をもつ子どもがいます。このような子どもに適切な支援を行うことで授業が「楽しい!」と感じている姿を見ると、先生になってよかったと思います。
チーム体制で指導することで、子ども一人一人へのきめ細かな配慮や、担任一人ではできないような活動を行うことができます。



【特別支援学校教員】

▶ 小・中学校の特別支援学級においても、障害種に応じて学級編制を行い、
子どもたち一人一人を大切にした教育を進めています。



【特別支援学級担当教員】

通常の学級の担任でしたが、特別支援学級の担当への異動を希望しました。きっかけは、障害のある子どもを担当したことで、個に応じた支援の仕方について学ぶとともに、支援したいという気持ちをもったことです。
特別支援学級の担当を経験して、子どもの実態把握と個別の対応の重要性を改めて感じることができました。

通常の学級と特別支援学級との人事交流も実施しています。





安心して子どもたちに

向き合うためのサポート体制

さらに充実！なごやの教員の力量

向上をサポートする教員研修

名古屋市では、初任者研修をはじめとした教員をサポートする各種研修を実施しており、経験年数や本人の希望に応じた様々な研修を受けることができます。夏季休業中には、各教科等の基礎的な指導方法や授業ですぐに使える授業のネタを学ぶことができる「アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座」があり、なごやの特長的な研修として毎年多くの教員が受講しています。



実際に体験をして、授業づくりのヒントを学ぶことができます！

初任者研修が終わっても、希望者には2・3年目のフォローアップがあり、安心です！



アイデアいっぱい！楽しい授業づくり講座(家庭)

2・3年目フォローアップ

また、タブレットを活用した授業事例の紹介や操作体験ができる「コンピュータ講座」も開設しています。タブレットの操作体験だけでなく、情報モラルや生成 AI などの今日的な課題についても学ぶことができる講座もあり、多くの教員が受講しています。



令和6年度より、4・5年目の希望者には、学習指導等において、個々の課題を解決するために、サポートを受けることができるようになりました！

タブレットを活用するのは不安という方も安心！



4・5年目教師力パワーアップ

スキルアップをサポートする制度

スキルアップを図るために、教員として在籍しながら教職大学院で学ぶことのできる研修があります。教職大学院派遣では、確かな指導理論と優れた実践力や応用力を身に付けた教員の育成を目指しています。教職大学院で、仲間とともに議論を繰り返すことで、これまでの実践と教育理論を結び付け、学校現場へ戻ったときに成果を還元することができます。他にも、在外教育施設（日本人学校等）へ派遣する制度があり、教員として生かすことのできる貴重な経験を積むことができます。

教職大学院で学んだ授業デザインや指導理論を生かし、現場に戻ってからは、生徒の多様なニーズに応じた授業改善に取り組んでいます。

教職大学院派遣は、自己の研究と修養を高める大変貴重な機会であると思います。教職大学院での学びを通じて、自身の教育観や指導法を再評価し、教員としてのスキルアップを図ることができます。



【教職大学院で学んだ中学校教員】

育児・介護をサポートする制度

育児や介護と仕事が両立できるように、一時期休業をしたり、職務が免じられたりする制度があります。また、家庭の事情でやむを得ず退職しなければならない状況になった場合に、退職日から6年以内に限り、「子育て理由退職者特例」「介護理由退職者特例」を使って、名古屋市公立学校教員採用選考試験を再受験(※)することができます。

※1次試験免除、2次試験の口述のみで選考

出産・育児・介護に関する制度の内容及び取得可能期間（一部）

出産休暇	産前8週間（多胎妊娠の場合は14週間）、産後8週間
分べん看護職免	配偶者の入院する日から出産後4週間以内において2日
育児休業	子が3歳に達するまで（2回まで分割可能）
介護休暇	2親等の親族の介護の必要がある場合、6か月
短期介護職免	2親等の親族の介護の必要がある場合、1年に5日（介護対象者が2人以上の場合は10日）

※育児参加職免や介護時間など、時間単位で取得できる制度もあります。

なごやの学校では取得しやすい雰囲気づくりに努めているよ！



子どもたちも教員も笑顔 になれる新しい働き方



名古屋市
学校における
働き方改革プラン

教員の1日と日常の業務改善・先輩教員からのメッセージ



【高等学校教員】

● デジタル採点システムのメリットは？

デジタル採点システムにより、1 クラスあたり 20~30 分採点時間が削減されたと思います。そのため、ゆとりをもって生徒からの質問の対応などに時間を割くことができるようになりました。

● リフレッシュの方法は？

休日には、友人と遠くに出掛け、キャンプやバーベキューをして思いっきりリフレッシュをしています。

デジタル採点システムの活用

採点等にかかる事務負担を軽減できる

教員業務支援員等の配置

学習プリントの印刷等の事務負担の軽減により、子どもへの指導に注力できる

● 教員業務支援員配置のメリットは？

教員業務支援員と配布物の印刷や健康診断の準備等をしているため、健康診断や保健室対応で忙しいときもゆとりをもって子どもたちに接することができます。



【養護教員】

● 先生の魅力・やりがいとは？

養護教員は、全校の子どもたちと関わりをもったり、明るく元気に学校生活を送る姿を見たりすることができます。養護教員になってよかったなと思います。また、心身ともに成長していく子どもたちに携わることができることにやりがいを感じます。

● ICT 活用の支援のメリットは？

食育は、授業数がかなり限られているので、短い時間で印象に残るような授業を心掛けています。教材のデジタル化により、タブレットでどこでも資料を作成することができるので、手早く作成できるようになりました。

● 先生の魅力・やりがいとは？

子どもたちは「給食がとってもおいしかったよ」とキラキラの笑顔を見せてくれるので、頑張ろうという気持ちになります。



【栄養教員】

ICT 活用の支援

ICT 支援員の配置やヘルプデスクの設置による情報機器等の活用支援を通して、効率的に ICT を活用できる環境づくりを進める



【幼稚園教員】

● 半日保育日のメリットは？

半日保育日が増えたことで、余裕をもって保育の準備ができるようになりました。また、他の教員と会話する機会が増え、ちょっとした保育の技を学んだり、他のクラスの子どもの姿を知ったりすることができ、保育の充実につながっています。

● リフレッシュの方法は？

休日はプチ旅行に出掛けています。平日はじっくり子どもと向き合い、休日は非日常を楽しんで、心身共にオンオフを切り替えています。

日課表の見直し等の推進

勤務時間に合った登校時刻の見直しや4時間授業日、半日保育日の設定等を進める

教員の 1 日



勤務時間

小・中・特
高・幼

8:15~16:45
8:30~17:00

ここ数年で
いろいろな業務改善が
図られているよ！

1か月あたりの時間外在校等時間(平均)の変化

	H 30 年度	R 5 年度
小学校	39.3 時間	28.3 時間
中学校	47.5 時間	36.2 時間
高等学校	40.0 時間	30.2 時間
特別支援学校	28.2 時間	24.4 時間
幼稚園	46.0 時間	38.1 時間

大きく
減少！！

勤務条件(令和7年4月現在)

給与	大学卒の給与	短大卒の給与
高等学校	295,800 円	271,719 円
中学校	295,800 円	271,719 円
小学校	295,800 円	271,719 円
幼稚園	291,480 円	268,197 円
特別支援学校	308,979 円	283,833 円

※この他に、諸手当として、通勤手当、扶養手当、期末・勤勉手当等があります。

休暇

年次休暇は、年間 20 日です。その他、条例に定められた休暇があります。



チームとしてなごやの子どもたちを支える「なごや子ども応援委員会」

なごや子ども応援委員会は、様々な悩みや心配を抱える子どもや保護者を総合的に援助するため、常勤のスクールカウンセラー等の専門職を学校現場に配置しています。全市立中学校と一部の市立高等学校に常勤スクールカウンセラーを、全市立幼稚園、小学校、高等学校、特別支援学校に非常勤スクールカウンセラーを配置し、幼少期からの途切れのない支援を行っています。

子どもにとって最もよい環境づくりを学校と一緒に考え、専門性を生かしながらチームで活動しているため、学校からとても頼りにされています。



障害者特別選考試験を実施します

主な対象

選考区分に応ずる教諭普通免許状を所有または令和8年3月31日までに取得見込みで、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人。

試験内容

1次試験では総合教養を実施しません。試験の対象者・内容についての詳細は、試験要項をご覧ください。

大学推薦を実施します (理科・技術・工業・商業・特別支援学校)

対象

中学校（理科）、中学校（技術）、高等学校（理科）、高等学校（工業）、高等学校（商業）、特別支援学校の各志願者

特例内容

1次試験「総合教養」「専門」免除
※ 申請する場合には、在学する大学の学長、もしくは学部長の推薦が必要です。詳細は、各大学の担当者に確認してください。

令和6年度の受験者数・合格者数

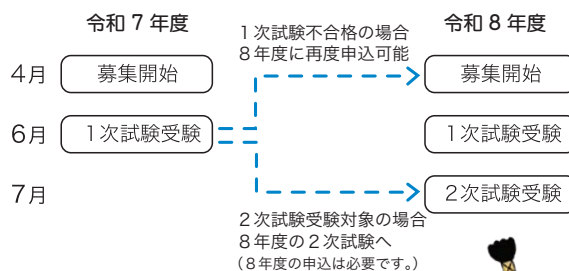
令和6年度 名古屋市公立学校教員採用選考試験 最終選考結果

区 分	受験者数	合格者数	補欠者数
小学校	607	271	20
中学校・高等学校			
国語	80	32	3
社会	97	11	1
数学	66	16	1
理科	55	25	0
音楽	32	3	0
美術	16	6	0
保健体育	166	12	0
技術	11	7	0
家庭	16	4	0
英語	91	9	3
高等学校			
地理・歴史	30	3	0
工業	10	3	0
商業	7	4	0
幼稚園	28	8	0
特別支援学校	73	43	0
養護教員	132	12	0
栄養教員	37	3	0
合 計	1554	472	28

※障害者特別選考結果を含む。
※大学3年生等を対象とした選考試験の対象者を含まない。

今年度も大学3年生等を対象 とした選考を実施します

大学3年生等の受験イメージ



動画「名古屋の学校」 先生と未来に羽ばたくなごやっ子たち

- ・名古屋市の魅力
 - ・特色ある授業や教育施設
 - ・充実した研修制度
 - ・一般的な教員の1日
- などについて、紹介しています。



こちらのQRコードを
check !

申し込みについて

申込はインターネットから行ってください【名古屋市電子申請サービス】

試験要項は、名古屋市公式ウェブサイトから閲覧してください。（4月中旬掲載予定）
申込期間内（令和7年4月18日（金）～5月2日（金））に、名古屋市電子申請サービス
(<https://ttzk.graffer.jp/city-nagoya>) にアクセスし、順次画面の指示に従ってください。

インターネットで申込ができない場合

試験要項にある「申込書の請求手続き」に従って、紙の「試験要項」と「申込書」を請求してください。



名古屋市
電子申請サービス



名古屋市公式
ウェブサイト